

増川喜久男関係文書 目録

2006年8月作成

国立国会図書館憲政資料室

2011.7 PDF 作成

増川喜久男関係文書目録 目次

<石原莞爾宛>書簡	1
<増川喜久男宛>書簡	29
<家族宛／第三者宛／宛先不明> 書簡	30
その他 (楽譜)	31

凡 例

- 本目録は野村乙二郎氏が作成した資料リストに基づき、番号の変更及び加筆訂正を行ったものである。
- 宛先別(①石原莞爾宛②増川喜久男宛③家族宛／第三者宛／宛先不明)に大別した上で、差出人の五十音順・年代順に配列した。
- 書簡の性質を示すために「封書」「葉書」「封緘葉書」「封筒なし」の区別を付した。
- 機関等の用紙については、用紙の名称を採ったが、罫線のあるものを罫紙、それ以外を用箋と便宜上区別した。
- 標題・資料の作成年代のうち、目録作成者が補足や推定を行った部分は〔 〕を付して区別した。

本目録の作成にあたっては、野村乙二郎氏のご協力を得ました。ここに記して感謝いたします。

1. <石原莞爾宛> 書簡

1	阿子島俊治	昭和16年3月21日	封書	ペン	1通	宮城県気仙沼分会発会出席、彼地の聯盟運動について報告	
2 -1	朝尾友三	[昭和16年] 4月30日	封書	鉛筆	1通	新聞によれば永井柳太郎が閣下と会談、興亜諸団体統合に乗り出したとのこと、此際これを迎えて東亜聯盟の新精神を開明されたい	
2 -2	朝尾友三	昭和17年10月1日	封書	ペン	1通	興亜同盟の綱領中に「主権の尊重」を復活した意義	
2 -3	朝尾友三	昭和19年4月18日	封書	ペン	1通	高知・島崎氏への雑誌発送手違い謝罪 (備考) 東亜聯盟協会用箋・東亜聯盟同志会封筒	
2 -4	朝尾友三	[昭和19年ヵ] 8月8日	封書	ペン	1通	石原出馬説あるが、組閣大命時以外には軍・官ともに復帰すべきではない	
3	朝倉七郎	昭和17年12月11日	封書	ペン	1通	登部隊参謀部嘱託採用に際し面会希望	
4 -1	池本喜三夫	昭和17年11月8日	封書	ペン	1通	御下命の武田氏講義派遣の件引き受ける、『池本農業政策大観』の件	
4 -2	池本喜三夫	昭和19年3月25日	封書	ペン	1通	桐谷・石田両家結納の礼 (備考) 宛名は銚(妻)との連名	
4 -3	池本喜三夫	昭和19年6月20日	封書	ペン	1通	武田邦太郎庄内行き以来飛躍、貴地訪問中の礼、酵素の効用	
5	石原修	昭和14年5月12日	封書	ペン	1通	士官任官、頂いた軍刀への御礼、北支派遣挨拶 (備考) 宛名は銚(妻)との連名	
6	石原知津	昭和17年8月15日	封書	ペン	1通	祖母に対する病氣見舞い	
7 -1	石原銚	昭和17年11月17日	封書	ペン	1通	引っ越し完了、郵便物回送	
(付)	谷荻那華雄書簡	石原莞爾宛	墨書	昭和17年11月13日	陸軍省封筒	1通	ドイツ大使館より依頼の「伯林・羅馬・東京」誌への論文依頼

増川喜久男関係文書目録

7 -2	石原銚 郵便物回送 (付1) 杉田英一郎書簡 石原莞爾宛 墨書 1通 豊橋での東亜聯盟の概要講演依頼 (付2) 金成有光書簡 石原莞爾宛 9月27日 ペン 1通 転居通知	〔昭和18年ヵ〕 10月2日	封書	ペン	1通
8 -1	石原六郎 清水芳太郎飛行機事故死	昭和16年12月23日	封書	ペン	1通
8 -2	石原六郎 杉浦君帰京、増川君未だ出勤せず、清水先生の蔵書行方	昭和17年2月10日	封緘葉書	ペン	1通
8 -3	石原六郎 多田政一の話、現今の革新運動はイデオロギーのみで生活がない	昭和17年2月19日	封書	ペン	1通
8 -4	石原六郎 会費制度確立の件、本部機構・人事問題 (備考) 東亜聯盟協会罫紙・同封筒	昭和17年6月13日	封書	ペン	1通
8 -5	石原六郎 12月号に関する警視庁の注意、私も漸く靈動が少し動く様です	〔昭和17年〕 12月24日	封緘葉書	ペン	1通
8 -6	石原六郎 高木清寿のこと、多田政一の予定 (備考) 東亜聯盟協会用箋・同封筒 (付) 東亜聯盟協会規約 (『東亜聯盟』昭和18年2月号切り抜き) 活版 1枚	〔昭和18年〕 2月6日	封書	ペン	1通
8 -7	石原六郎 全国中参会延期、紀南支部のこと他	昭和18年〔3月中旬〕	封書	ペン	1通
8 -8	石原六郎 農事講習会は高木氏が主担当	昭和18年7月31日	葉書	ペン	1通
8 -9	石原六郎 知津出征、同志会としては事務に困却	昭和19年6月2日	葉書	ペン	1通
8 -10	石原六郎 外山家空襲被害片づけ、フリとナボは大部分無事	昭和19年12月6日	葉書	ペン・鉛筆	1通
9	伊地知則彦 「直感悟入の日蓮主義」序曲一文を増川宛に送付	昭和16年11月25日	封緘葉書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

10 -1	伊東六十次郎	昭和15年12月13日	封書	ペン	1通
	東亜聯盟に関する協和会長声明の不成立、案文送付 (付) 三国宣言ニ関スル満洲帝国協和会会長声明 タイプ 満洲帝国協和会用箋 4枚				
10 -2	伊東六十次郎	昭和17年9月30日	封書	ペン	1通
	協和会香川文雄の紹介				
11 -1	入江辰雄	昭和16年10月8日	封書	ペン	1通
	古知氏に対する人物評				
11 -2	入江辰雄	〔昭和18年?〕12月16日	封書	ペン	1通
	「仏教史よりみたる東亜聯盟」送付				
11 -3	入江辰雄	〔昭和19年〕1月9日	封書	ペン	1通
	新稿に抜けたところをご指摘頂き感謝				
11 -4	入江辰雄	昭和20年3月21日	封筒のみ	墨書	1枚
12 -1	牛島辰熊	昭和17年9月6日	封書	墨書	1通
	和田勁の健康管理、その他				
12 -2	牛島辰熊	昭和18年2月10日	封書	ペン	1通
	入院、身中三虫駆除				
13	大槻忠夫	昭和18年12月8日	封書	ペン	1通
	19年頭の講習会予定、岡部源次と加藤完治、宮城県内運動状況				
14 -1	岡野鑑記	〔昭和15年〕11月12日	封書	ペン	1通
	「新体制と東亜聯盟」の講演プリント恵贈感謝、満洲東亜協会誌友会の創立その他 (付1) 満洲東亜聯盟誌友会の結成 活版 1枚 (付2) 東亜聯盟研究委員会規約 謄写 1枚 (付3) 満洲東亜聯盟誌友会創設案内 昭和15年11月12日 満洲東亜聯盟誌友会創立準備会代表 1枚				
14 -2	岡野鑑記	〔昭和15年〕12月12日	封書	ペン	1通
	日満華共同宣言及び条約、満洲東亜協会誌友会の創立その他				
14 -3	岡野鑑記	〔昭和16年〕1月16日	封書	ペン	1通
	聯盟運動に対する本格的弾圧来る、誌友会の運動方針につき御指示を望む (付) 満洲新聞切抜（「東亜防衛と満洲国防経済」他） 活版 5枚				
14 -4	岡野鑑記	昭和16年2月18日	封書	ペン	1通
	近来の弾圧により同志中動揺、協和会から東亜聯盟主義者一掃人事				

増川喜久男関係文書目録

14 -5	岡野鑑記	昭和16年8月11日	封書	墨書	1通	7月19～21日建国大学の寮にて興亜修養会を開催、概して朝鮮系に優秀な同志多し
14 -6	岡野鑑記	昭和16年12月7日	封書	ペン	1通	運動状況報告、奉天誌友会発会式
14 -7	岡野鑑記	〔昭和17年〕5月31日	封書	ペン	1通	五月号「維新期の同胞に訴ふ」に感激、統合問題も大風一過 (付) 聯盟運動報告 第10号 昭和17年4月末日 活版 1枚
14 -8	岡野鑑記	昭和17年9月25日	封書	ペン	1通	民族協和理念に対する動揺が見える、10月20日過ぎに鶴岡訪問
14 -9	岡野鑑記	昭和17年11月14日	封書	ペン	1通	参上時の礼、例の件ご賛同を得感謝、京城はご壮健
14 -10	岡野鑑記	〔昭和18年ヵ〕6月17日	封書	ペン	1通	『芸文』五月号に「民族協和の具現」を寄稿、建国大学尾高亀蔵副学長による改革
15	片倉衷	昭和15年8月30日	封書	ペン	1通	モーターカー追突の奇禍、入院中、民族意識容認の必要
16	加藤完治	昭和17年10月20日	封書	墨書	1通	ご光来・ご教示有り難く御礼申し上げ候
17	加藤年雄	昭和17年12月28日	封書	ペン	1通	三笠宮殿下御進講日程(1月6・7・8のいずれか)について
18	金子定一	昭和16年2月26日	封書	墨書	1通	御近状拝承何とも驚き入り候
19	鎌形浅吉	昭和18年9月16日	封書	墨書	1通	過日は苗代の件にて御迷惑をおかけ致し
20	韓雲階	昭和17年7月8日	封書	ペン	1通	東亜聯盟誌上の閣下の御講演速記他漏れなく拝読
21 -1	木村嘉久郎	昭和17年9月21日	封緘葉書	ペン	1通	わざわざ桐谷君を差し向け下さり恐縮
21 -2	木村嘉久郎	〔昭和19年〕4月14日	封緘葉書	ペン	1通	四国事務所の同志練成場予定地の件

増川喜久男関係文書目録

- | | | | | | | |
|-------|-------|---------------|----|----|----|--|
| 22 | 木村武雄 | 〔昭和18年〕 9月23日 | 封書 | ペン | 1通 | 上海報告、大蔵省組の経済イデオロギーは全くこまったもの、辻大佐から経済建設の大役を任される |
| 23 | 桐谷誠 | 昭和18年6月1日 | 葉書 | ペン | 1通 | 先日訪問宿泊の礼 |
| 24 -1 | 古知新八 | 〔昭和16年〕 4月26日 | 封書 | 墨書 | 1通 | 東亜聯盟内の日蓮主義研究会結成経緯 |
| 24 -2 | 古知新八 | 昭和17年11月17日 | 封書 | ペン | 1通 | 国柱会の内紛 |
| 24 -3 | 古知新八 | 〔昭和18年〕 7月18日 | 封書 | ペン | 1通 | 運動の進展状況、誌友会も結成以来満3年の誕生日を迎えん |
| 24 -4 | 古知新八 | 昭和19年12月31日 | 封書 | ペン | 1通 | 年末に際しての決意、危機は戦線よりも銃後 |
| 24 -5 | 古知新八 | 昭和 年3月1日 | 封書 | ペン | 1通 | 興亜同志会思想錬成会の講師として大同に滞在中 |
| 25 -1 | 佐々木政一 | 昭和17年2月27日 | 封書 | ペン | 1通 | 滋賀県下長浜・彦根での講習依頼 |
| 25 -2 | 佐々木政一 | 昭和19年1月13日 | 封書 | ペン | 1通 | 曹寧柱事件報告
(備考) 封筒差出人は東亜聯盟同志会関西事務所、東亜聯盟協会関西事務所封筒 |
| 26 | 里見岸雄 | 昭和20年3月27日 | 封書 | ペン | 1通 | 同封葉書を書き終えた後、立命館を解職の通知
(付) 里見岸雄書簡 石原莞爾宛 〔昭和20年〕 3月27日 葉書 ペン 1通 疎開通知、先日貴地通過 |
| 27 | 柴田欣志 | 昭和19年4月21日 | 封書 | 墨書 | 1通 | 進展は佐野、合田、渡会中尉の御蔭 |
| 28 -1 | 白柳秀湖 | 昭和17年11月1日 | 封書 | ペン | 1通 | 「民族の日本歴史」のこと、立命館はせめてこの学年度だけは骨を折ってみたい |
| 28 -2 | 白柳秀湖 | 昭和18年6月25日 | 封書 | 墨書 | 1通 | はじめて庄内を視た感想 |

増川喜久男関係文書目録

- 29 -1 杉浦晴男 昭和14年11月4日 封書 ペン 1通
『東亜聯盟』第二号編集中、協会の綱領について
- 29 -2 杉浦晴男 昭和14年11月21日 封書 ペン 1通
板垣9・18声明解説は例の「秘」扱いの小冊子より一步突っ込んだもの、田中智学逝去のため連日一之江通い、今月十日をもって正式に協和会部に
- 29 -3 杉浦晴男 昭和14年12月31日 封書 ペン 1通
本年を回顧、感慨無量
- 29 -4 杉浦晴男 昭和15年2月7日 封書 ペン 1通
東亜聯盟建設綱領の遅延は宮崎先生の経済関係、昭和維新論の出版も此方で
- 29 -5 杉浦晴男 昭和15年2月25日 封書 ペン 1通
宮崎案の訂正、高木は「独自の立場」に主点を置き、同行賛美を軽視する傾向、東亜聯盟の合理的経営に腐心
- 29 -6 杉浦晴男 昭和15年4月19日 封緘葉書 ペン 1通
在京中の指導に感謝、ラジオの「汪政権」に宮崎出席、協会内務の事務整理が必要
- 29 -7 杉浦晴男 昭和15年5月1日 封書 ペン 1通
東京各紙中、朝日が最も優秀、協会内部不安心、東亜聯盟の句の中「東亜の聯盟」と「の」の字挿入の策謀
- 29 -8 杉浦晴男 昭和15年6月8日 封書 ペン 1通
木村の得意はその場その場の仕事及び上層階級の獲得、朝鮮問題、宮崎の石原訪問予定
- 29 -9 杉浦晴男 昭和15年7月4日 封書 ペン 1通
辻少佐情報、宮崎の講演が総軍の空気を決定的にしつつある
- 29 -10 杉浦晴男 昭和15年7月8日 封書 ペン 1通
丸川書簡同封、南京より辻少佐上京、理由は新内閣の政綱に東亜聯盟結成の一点を加えること他、昨今省部に於いて奮闘。
(付) 丸川順助書簡 杉浦晴男宛 [昭和15年] 7月4日 ペン 1通 協和会近時の状態
- 29 -11 杉浦晴男 昭和15年9月18日 封書 ペン 1通
最終戦論削除の件、小泉夫人と久々に面会し精華会も断じて停滞させぬ事を誓う、山口の原稿訂正の件
(備考) 東亜聯盟協会罌紙・同封筒
- 29 -12 杉浦晴男 昭和15年10月8日 封書 ペン 1通
内務省係官の話、セイロン伝説削除の件、本化上行の出現と天皇の関係記述が困る事

増川喜久男関係文書目録

29 -13	杉浦晴男 朝鮮問題、満州国の統制経済 (付)〔満州国の統制経済原稿〕 タイプ 3枚 ペン字書き入れあり	昭和15年10月27日	封書	ペン	1通
29 -14	杉浦晴男 鎌形氏来訪、国柱会の件漸く解決、学者の動員計画	昭和15年11月1日	封書	ペン	1通
29 -15	杉浦晴男 白鳥講演の手違いについて	昭和15年11月1日	封書	ペン	1通
29 -16	杉浦晴男 「新体制と東亜聯盟」の掲載熱望、閣下の許可が無いときは他の名前で出す案まであり、警視庁特高第一課長と面会 (備考) 東亜聯盟協会野紙	〔昭和15年〕 11月18日	封書	ペン	1通
29 -17	杉浦晴男 鶴岡・大宝館の座談会・酒田の座談会等の報告 (備考) 酒田ホテル用箋・同封筒	昭和15年11月22日	封書	ペン	1通
29 -18	杉浦晴男 東亜聯盟促進議員連盟計画以来、予期の如く険悪なる空気生ず	昭和15年12月15日	封緘葉書	ペン	1通
29 -19	杉浦晴男 在中国三団体解消、東亜聯盟一本槍に進む事はご同慶の至り	昭和15年12月19日	封緘葉書	ペン	1通
29 -20	杉浦晴男 福島宅にて川上教授より委細承る、大阪支部発足を廻るトラブル,支部設立方法確立の要	昭和15年12月26日	封緘葉書	ペン	1通
29 -21	杉浦晴男 協会運営方針について、木村・田村氏等と協議。議員を集めたりする事は、やはり従来政治運動をやっていた人々には大いなる魅力らしい	昭和16年1月3日	封書	ペン	1通
29 -22	杉浦晴男 閣下の現役離脱の日に直面 (備考) 新亜商工株式会社用箋	〔昭和16年〕 2月18日	封書	ペン	1通
29 -23	杉浦晴男 小泉菊枝と名古屋憲兵隊のトラブル	昭和16年2月28日	封緘葉書	ペン	1通
29 -24	杉浦晴男 宮崎の中央参与会員辞任届けについて (備考) 東亜聯盟協会野紙	昭和16年3月24日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

29 -25	杉浦晴男 満州人の少女出版、速記原稿から野口・淡谷削除希望	昭和16年10月15日	封書	ペン	1通
29 -26	杉浦晴男 訂正版落手、講習会に間に合わせる積もり	昭和16年12月22日	封緘葉書	ペン	1通
29 -27	杉浦晴男 宮崎の経済建設要綱改訂作業引き受け、その他	昭和16年12月25日	封書	ペン	1通
29 -28	杉浦晴男 最終戦と大東亜戦争の関係についての執筆依頼 (付)『東亜聯盟』 一月号 第一案・第二案 昭和16年12月24日・27日 謄写 1枚	昭和16年12月27日	封書	ペン	1通
29 -29	杉浦晴男 和田全快、木村一昨日帰京、河村少将原稿への教示感謝	昭和17年1月24日	封緘葉書	ペン	1通
29 -30	杉浦晴男 今松警保局長との会見、池本・杉浦治助会談等について	昭和17年1月29日	封緘葉書	ペン	1通
29 -31	杉浦晴男 田村の特種工作、高木の退職、武内・木村会談等	昭和17年1月30日	封緘葉書	ペン	1通
29 -32	杉浦晴男 会員規約改正の件、興亜団体統合問題の件等、最終戦争論二十日頃出版予定	昭和17年2月10日	封緘葉書	ペン	1通
29 -33	杉浦晴男 昨日同封を忘れて申し訳ない、今日警保局長に届ける予定 (備考) 東亜聯盟協会罫紙・同封筒 (付) 東亜局中保與作副部長の本協会に対する中傷事実の報告書 昭和17年4月1日 東亜聯盟協会 タイプ 2枚	昭和17年4月3日	封書	ペン	1通
29 -34	杉浦晴男 本部体制確立、建設要綱改訂の件、日蓮無用論の掲載の詫び (備考) 東亜聯盟協会罫紙・同封筒	昭和17年6月9日	封書	ペン	1通
29 -35	杉浦晴男 往訪時の礼、運動の再組織と会費制度	昭和17年12月14日	封書	ペン	1通
29 -36	杉浦晴男 国民組織要綱案・東亜聯盟建設要綱案に就いて	〔昭和17年〕12月16日	封書	ペン	1通
29 -37	杉浦晴男 伊地知の書簡、歌川氏に送付の件、現代戦争論品切れの由気を付ける	昭和17年12月29日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

29 -38	杉浦晴男	昭和18年2月17日	封緘葉書	ペン	1通	東亜聯盟建設要綱、国民組織要綱案、28日結婚のこと
29 -39	杉浦晴男	昭和18年5月5日	封書	ペン	1通	校正原稿落掌、東亜聯盟建設要綱は御指示の如く訂正、国民組織要綱は二十二日印刷に着手
29 -40	杉浦晴男	昭和18年6月2日	封緘葉書	ペン	1通	昭和維新論中の経済建設の部分は従来そのまま宮崎より返事、合本交渉について
29 -41	杉浦晴男	[昭和18年] 6月30日	封書	ペン	1通	国民組織要綱案・昭和維新指導綱領案等について、一昨日武田来訪
29 -42	杉浦晴男	昭和18年7月26日	封書	ペン	1通	池本から話を聞いた事、合本のこと等 (備考) 東亜聯盟協会封筒
29 -43	杉浦晴男	昭和18年8月19日	封筒のみ	ペン	1枚	
29 -44	杉浦晴男	[昭和18年] 9月10日	封書	ペン	1通	改訂草案終了、伊東氏関係者(津軽)の希望 (備考) 東亜聯盟協会用箋・同封筒
29 -45	杉浦晴男	昭和18年9月17日	封書	ペン	1通	佐藤正三等(津軽)の改正案について (備考) 東亜聯盟協会用箋・同封筒
29 -46	杉浦晴男	昭和18年10月15日	封書	ペン	1通	国民組織要綱案をもって佐藤氏と一緒に何う (備考) 東亜聯盟協会用箋・同封筒 (付) [党本部党下部組織原案] [昭和18年] 謄写 1枚
29 -47	杉浦晴男	昭和18年10月21日	封緘葉書	ペン	1通	拝趨時の礼、東方会検挙の件等
29 -48	杉浦晴男	[昭和18年] 10月23日	封緘葉書	ペン	1通	山本勝之助との情報交換、武田の農村改新要綱等
29 -49	杉浦晴男	昭和19年1月27日	封書	ペン	1通	国民組織要綱案・昭和維新論、合本と山本への依頼
29 -50	杉浦晴男	昭和19年10月11日	葉書	ペン	1通	千原、T・Aと共に軍法会議

増川喜久男関係文書目録

30 -1	曹寧柱 出所後の心境、上告断念の経緯	昭和19年1月8日	封書	ペン	1通
30 -2	曹寧柱 東亜聯盟本部に於ける役割、東亜聯盟の民族観と特高の見解 (備考) 東亜聯盟同志会封筒	昭和19年3月4日	封書	ペン	1通
30 -3	曹寧柱 郵便事情、鉄道便事情、高木清寿氏近況 (備考) 東亜聯盟同志会罫紙・同封筒	昭和19年4月6日	封書	ペン	1通
30 -4	曹寧柱 家族の病気、入院手続き、朝鮮事情	昭和19年6月10日	葉書	ペン	1通
30 -5	曹寧柱 板垣閣下に面会、本部の担当、京城での事、朝鮮人の心情 (備考) 東亜聯盟同志会罫紙・同封筒	昭和19年7月15日	封書	ペン	1通
30 -6	曹寧柱 伊地知、和田の対立緩和策 (備考) 文面の連続した2葉の葉書	昭和19年10月6日	葉書	ペン	1通
30 -7	曹寧柱 牛島・浅原・津野田少佐は軍法会議に決定、千原も同日軍法会議、庶務を増川に引き継ぐ予定	昭和19年10月12日	封緘葉書	ペン	1通
30 -8	曹寧柱 名古屋朝鮮青年の事、道場譲り受けた、空手を通じて東亜聯盟の挺身隊を組織したい	昭和19年10月28日	葉書	ペン	1通
30 -9	曹寧柱 井上義郎の件、毎日朝夕の勤行	昭和19年11月11日	葉書	ペン	1通
30 -10	曹寧柱 昨年暮れから古河の工具指導員 (備考) 古川鑄造株式会社罫紙	昭和20年2月3日	封書	ペン	1通
30 -11	曹寧柱 朝鮮労働者の指導法	昭和20年3月26日	葉書	ペン	1通
31 -1	高木清寿 富山の活動報告、森丘の紹介	[昭和16年] 1月31日	封書	墨書	1通
31 -2	高木清寿 戦争史大観の図完成本日送付、東北巡遊日程の件	昭和16年5月14日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

- 31 -3 高木清寿 昭和16年10月23日 封緘葉書 墨書 1通
戦争史叢書出版計画、外山の訳本に序文希望
- 31 -4 高木清寿 昭和16年12月27日 葉書 ペン 1通
小泉菊枝の本、「東亜聯盟と昭和の民」は新正堂より出版、最終戦論出版遅延
- 31 -5 高木清寿 昭和17年3月25日 封書 ペン 1通
水稻注油栽培の原稿、森丘より部長に交渉
- 31 -6 高木清寿 [昭和17年ヵ] 7月15日 封書 ペン 1通
「東亜の二大民族」原稿写文、「支那事変解決」は相談後決定、婦人公論社の橘・石原対談企画
(備考) 東亜聯盟協会封筒
(付) [石原莞爾・橘樸先生対談案「日本の革新と女性」] 中央公論社野紙 タイプ 1枚
- 31 -7 高木清寿 [昭和17年] 8月22日 封書 ペン 1通
東亜聯盟農業政策ではなく池本農業政策に変更の要請
(備考) 東亜聯盟協会原稿用紙
- 31 -8 高木清寿 昭和17年12月5日 封書 ペン 1通
最終戦論が反政府的であるとの当局の判断について
- 31 -9 高木清寿 [昭和17年] 12月26日 封書 ペン 1通
東亜聯盟雑誌用紙の配給半減、富山での靈動講習会等
(付) 關取引防止策ニ就テ 昭和17年12月3日 農務課長 業務連絡部長宛 謄写 7枚
- 31 -10 高木清寿 昭和17年12月末 封書 鉛筆 1通
東北・北陸での活動報告、富山支部は森丘が中心
(備考) 東亜聯盟協会封筒
(付) 会費分担表 昭和17年12月21日 ペン 1枚
- 31 -11 高木清寿 昭和18年3月3日 葉書 ペン 1通
人物照会
- 31 -12 高木清寿 昭和18年7月31日 葉書 ペン 1通
農事講習会、点呼前訓練終了後参加予定
- 31 -13 高木清寿 昭和18年9月2日 封緘葉書 ペン 1通
鍵田忠三郎青年の紹介、世界最終戦論八月下旬再版を許される
- 31 -14 高木清寿 昭和18年12月16日 封書 ペン 1通
明春の房州講習会、栃木支部再建の事
(備考) 東亜聯盟協会野紙・東亜聯盟同志会封筒

増川喜久男関係文書目録

31 -15	高木清寿 明春の房州講習会の予定変更	昭和18年12月17日	封緘葉書	ペン	1通
31 -16	高木清寿 蔵書保管を外山に依頼	昭和18年12月20日	葉書	ペン	1通
31 -17	高木清寿 八日の東京会合を取り止めたこと等	昭和18年12月24日	葉書	ペン	1通
31 -18	高木清寿 戦術学要綱改訂に着手 (備考) 大東亜研究室原稿用紙	[昭和19年ヵ3月ヵ] 6日	封書	ペン	1通
31 -19	高木清寿 富山県下の工作員会議に出席できず慙愧の念、貧血めまい等不健康にて活動に支障	昭和19年4月18日	封書	ペン	1通
31 -20	高木清寿 東京高木支部その他報告	昭和19年6月6日	葉書	ペン	1通
31 -21	高木清寿 霊動を通じて東亜聯盟運動に、その他の活動報告	昭和19年7月2日	封書	ペン	1通
31 -22	高木清寿 敷式治療器の件、金石舎に相談、外山氏日蓮信者に	[昭和19年] 7月17日	封書	ペン	1通
31 -23	高木清寿 石井閣下への紹介感謝、参上したが演習中、二十七日参上予定	昭和19年12月24日	葉書	ペン	1通
32	高橋清一郎 重要工場分散の国策、県内情勢報告	昭和 年9月6日	封筒なし	ペン	1通
33 -1	武内文彬 只憤怒の紅蓮	昭和16年3月2日	封緘葉書	ペン	1通
33 -2	武内文彬 上海商工会議所としての活動 (備考) 上海日本商工会議所用箋・同封筒	昭和17年7月10日	封書	ペン	1通
34 -1	武田邦太郎 退役の御挨拶哀しく拝誦	昭和16年3月17日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

34 -2	武田邦太郎 池本・杉浦老人会見の件	昭和17年2月5日	封書	ペン	1通
34 -3	武田邦太郎 池本農政要綱取り纏めについて	昭和17年2月13日	封書	ペン	1通
34 -4	武田邦太郎 池本農政要綱取り纏め方針、目次	昭和17年2月22日	封書	ペン	1通
34 -5	武田邦太郎 農村改新要綱の執筆状況	昭和18年1月1日	封書	ペン	1通
34 -6	武田邦太郎 訪問時の御礼、少女二人も一緒に元気に着任、木村農法に関する私の見解	昭和19年9月14日	封書	ペン	1通
35 -1	田中直吉 世界最終戦論出版祝賀、学生が世界最終戦争論と現世界大戦を混同 (備考) 東亜聯盟協会原稿用紙・立命館大学国防学研究所封筒 (付) 大東亜戦争論講義要項(昭和17年5月4日-9日) 陸軍中将酒井鎬次 活版 1枚	昭和17年5月27日	封書	ペン	1通
35 -2	田中直吉 関西事務所活動状況報告 (備考) 第一鑄物株式会社用箋・同封筒	昭和19年8月30日	封書	ペン	1通
35 -3	田中直吉 阪神支部、志摩支部、中参会議等の報告、昭和維新論の講義と酵素肥料の講習会	昭和19年10月2日	封書	ペン	1通
35 -4	田中直吉 淡路での活動報告	昭和19年10月9日	葉書	ペン	1通
35 -5	田中直吉 津山・鳥取・但馬支部、岡山・倉敷・広島等への工作、教育革新要綱案を起草予定 (備考) 立命館大学国防学研究所罫紙 (付1) 酵素講習会案内 昭和20年1月14日 活版 1枚 (付2) [酵素講習会案内状] 昭和20年1月1日 東亜聯盟同志会関西事務所 活版 1枚 (付3) 関西事務所管内酵素規定 活版 1枚 (付4) 酵素指導要領・酵素指導細目 活版 1枚	昭和20年1月10日	封書	ペン	1通
36 -1	田中久 森出所、一月十日頃、渡満し修史事業に従事(後欠)	[昭和14年暮カ]	封筒なし	ペン	1通
36 -2	田中久	昭和15年9月21日	封筒のみ	ペン	1枚

増川喜久男関係文書目録

36 -3	田中久 中国人や大使館員との接触	昭和15年11月13日	封書	ペン	1通
36 -4	田中久 済南に於いて旧知と旧交を温め居り候、朱経古は常に閣下の御噂 (備考) 菊水ホテル便箋・同封筒	[昭和16年] 2月21日	封書	ペン	1通
36 -5	田中久 閣下身边の変化を知り慨嘆に堪えず (備考) 大和ホテル便箋・同封筒	昭和16年2月24日	封書	ペン	1通
36 -6	田中久 四国地方に於ける東亜聯盟運動の運動方針	昭和16年4月5日	封書	ペン	1通
36 -7	田中久 高松での日程、5月6・7両日の両日と致したい	昭和16年4月20日	封書	ペン	1通
36 -8	田中久 御移転を終わらせられ候趣大慶、関西は力おとし	[昭和16年ヵ] 9月23日	封書	ペン	1通
36 -9	田中久 閣下の巡回日程	[昭和16年] 10月20日	封書	ペン	1通
36 -10	田中久 飯田為三郎のこと、翼賛選挙の無意義、大阪方面の消息 (備考) 同日付2種類の書簡が同封	昭和17年3月3日	封書	ペン	1通
36 -11	田中久 綜統医学の多田氏四月に高松へ、東方会と赤誠会の動向、選挙批判、閣下の西下予定9月は可能	昭和17年3月14日	封書	ペン	1通
36 -12	田中久 甘藷栽培法の原稿(木村嘉久郎)の件、本部の増川氏閣下の御意図を察す	昭和17年3月18日	封書	ペン	1通
36 -13	田中久 綜統医学の多田政一の人物紹介、稀有な人物を発見したる歡喜に雀躍	[昭和17年] 4月6日	封書	ペン	1通
36 -14	田中久 拙著の序文御願ひ	昭和17年6月27日	封書	ペン	1通
36 -15	田中久 木村嘉久郎に桐谷兄弟を紹介されたこと	昭和17年7月4日	封書	ペン	1通
36 -16	田中久 木村の講習会、多田の夏期大学、多田の山形訪問	[昭和17年ヵ] 8月11日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

36 -17	田中久	昭和17年9月7日	封書	ペン	1通	八月下旬特高憲兵来宅、その後一昨日の憲兵の言に依れば東亜聯盟は現状に放置
36 -18	田中久	昭和17年9月16日	封書	ペン	1通	桐谷君から御近況を伺う
36 -19	田中久	昭和17年9月25日	封書	ペン	1通	聯盟の改組について、同士会は同志会にすべし
36 -20	田中久	昭和17年10月13日	封書	ペン	1通	綜統医学四国支部発会式
36 -21	田中久	〔昭和17年〕11月19日	封書	ペン	1通	九州巡遊中の便りに感謝、関門トンネル開通、東京防空の御談話に感激
36 -22	田中久	昭和17年12月26日	葉書	ペン	1通	ミカンの送り状
36 -23	田中久	〔昭和18年〕1月24日	封書	ペン	1通	同士会を同志会と訂正の事
36 -24	田中久	昭和18年3月3日	封書	ペン	1通	拙稿『支那戦史概論』一部別送、本日より三日間多田政一先生来県
36 -25	田中久	昭和18年7月1日	封書	ペン	1通	今年北支・満州は豊作 (備考) 満洲帝国政府封筒
36 -26	田中久	〔昭和18年〕8月30日	封書	ペン	1通	閣下の巡遊計画 (備考) 満洲帝国政府封筒 (付1) 田中久書簡 石原莞爾宛 〔昭和18年8月〕31日 ペン 1通 (付2) 〔昭和18年東亜聯盟四国事務所増産厚生講習会案内〕 謄写 1枚
36 -27	田中久	昭和18年10月7日	封書	ペン	1通	四国巡遊への謝礼
36 -28	田中久	昭和18年12月20日	封書	ペン	1通	車中で上海帰途の和田勁に面会
36 -29	田中久	〔昭和18年〕 月13日	葉書	ペン	1通	下関、釜山に一泊、12日帰京(新京)

増川喜久男関係文書目録

36 -30	田中久 第二回農事講習会終了	昭和19年1月26日	封書	ペン	1通
36 -31	田中久 本日渡満	昭和19年5月6日	葉書	ペン	1通
36 -32	田中久 北支より帰来（新京）、天候の鬱陶しきは法外	昭和19年5月31日	葉書	ペン	1通
36 -33	田中久 過日は大勢で参上感謝、其後西山農場の実況を拝見	昭和19年7月18日	封書	ペン	1通
36 -34	田中久 九日、無事帰省	〔昭和19年8月ヵ〕 12日	葉書	ペン	1通
36 -35	田中久 参上時は青山氏も感激、小泉女史明四日高松に来られる由、今月中旬の閣下御西下時に委曲報告	昭和19年11月3日	封書	ペン	1通
36 -36	田中久 伊予の同志に合田先生と連絡すべく要求	〔昭和19年〕 11月9日	封書	ペン	1通
36 -37	田中久 阿部久兵衛逝去の悔やみ	〔昭和19年〕 12月26日	封書	ペン	1通
36 -38	田中久 天橋立に於ける御高教は諸問題に明確な指針	〔昭和19年ヵ〕 月28日	封書	ペン	1通
36 -39	田中久 参上の際の礼、高山君も感激	〔昭和19年〕 月31日	葉書	ペン	1通
36 -40	田中久 閣下と生長の家谷口との提携	昭和20年2月26日	封書	ペン	1通
36 -41	田中久 29日、神崎正義死去	昭和20年3月30日	封書	ペン	1通
36 -42	田中久 昨日木村君帰来、御揮毫感謝 （備考）封筒差出人は東亜聯盟協会四国事務所、日満財政経済研究会統計用紙	昭和20年4月17日	封書	ペン	1通
36 -43	田中久 神崎死去に際する弔問感謝	〔昭和20年ヵ〕 月10日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

36 -44	田中久 義勇隊の事	[昭和20年～21年] 月24日	封書	ペン	1通
36 -45	田中久 木村氏の眼病御見舞の件	昭和 年 月5日	封書	ペン	1通
36 -46	田中久 岩村氏の手を介せる張氏の著書奉呈	昭和 年 月8日	封書	ペン	1通
36 -47	田中久 北支概況報告（治安は蔣ではなく八路の支配下、八路成功の理由、河南工作、北支経済）、満洲の概況	昭和 年 月16日	封書	ペン	1通
36 -48	田中久 語戦輯覧既に印刷に出した、日文訳の中に若干の説明を加え日本人の閲覧に便する予定	昭和 年 月17日	封書	ペン	1通
36 -49	田中久 この地方の運動、漸く調子に乗った	昭和 年 月26日	封書	ペン	1通
36 -50	田中久 物価に対する当局の真剣さ、前回杞憂せしことが早くも全面的に事実になった、北支の情況	昭和 年 月28日	封書	ペン	1通
37	田中芳谷 教辞 (備考) 宛先表記なし (石原莞爾宛カ)	昭和20年9月	封筒なし	謄写	1通
38	田村真作 例の工作、華字新聞の発行計画、緒方主筆が味方	昭和 年4月22日	封書	ペン	1通
39 -1	段塚幸人 北信支部解消について報告 (備考) 東亜聯盟同志会封筒・東亜聯盟協会用箋	昭和19年3月30日	封書	ペン	1通
39 -2	段塚幸人 書籍雑誌徽章等の郵送や鉄道輸送事情について (備考) 東亜聯盟協会野紙・同封筒	昭和19年4月5日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

39 -3	段塚幸人	昭和19年11月1日	封書	ペン	1通
	日蓮主義信仰について、「戦争史概観」の感想				
40	千原楠蔵	昭和 年 月2日	封筒なし	ペン	1通
	昭和13年暮れ以来、四ヶ年の足跡 (備考) 朝日新聞南京支局罫紙				
41	東亜聯盟協会	昭和17年10月8日	封書	ペン	1通
	増川が休養、編輯を高木・石原で担当、池本大観出版遅延 (備考) 東亜聯盟協会罫紙・同封筒				
42	東亜聯盟協会関西事務所	〔昭和17年ヵ〕6月12日	封書	ペン	1通
	第三回中央参与会員会議は本部より増川喜久男氏が臨席、山陰地方事務所設置 (備考) 東亜聯盟協会関西支部封筒 (付) 第三回中央参与会議 謄写 1枚				
43 -1	東亜聯盟同志会	昭和18年3月22日	封書	謄写	1通
	四月中関東・中部・関西巡回予定 (備考) 日滿財政経済研究会統計用紙・東亜聯盟協会封筒				
43 -2	東亜聯盟同志会	昭和18年5月24日	封書	ペン	1通
	全国中参の辞任、新中央参与会員の人選 (備考) 東亜聯盟協会罫紙・同封筒				
43 -3	東亜聯盟同志会 (常任委員)	昭和18年7月21日	封書	ペン	1通
	同志会運営方針、本部事務分担等 (備考) 消印は7月21日、書簡中に7月23日とあり、東亜聯盟協会罫紙・同封筒 (付) 事務分担次第 謄写 1枚				
43-4	東亜聯盟同志会	昭和18年9月17日	封書	謄写	1通
	東亜聯盟同志会規約(案)、中央参与会員協議事項通報(第1回) (備考) 東亜聯盟協会封筒				
43 -5	東亜聯盟同志会	昭和18年10月26日	封書	ペン	1通
	工作員会議予定 (備考) 東亜聯盟協会用箋・封筒 (付) 工作員会議開催の件 東亜聯盟同志会 〔昭和18年〕10月25日 謄写 1枚				
44 -1	東亜聯盟同志会関西事務所	昭和18年7月5日	封書	ペン	1通
	岐阜の奥村正治君応召 (備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒				
44 -2	東亜聯盟同志会関西事務所	昭和18年9月9日	封書	ペン	1通
	石島寧柱(曹寧柱)係の香取予審判事との会見 (備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒				

増川喜久男関係文書目録

- 44 -3 東亜聯盟同志会関西事務所 昭和18年9月13日 封書 ペン 1通
鳥取大地震情況について
(備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒
- 44 -4 東亜聯盟同志会関西事務所 昭和18年9月19日 封書 ペン 1通
鳥取地震の災害状況報告と石島寧柱(曹寧柱)事件の位置づけ
(備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒
- 44 -5 東亜聯盟同志会カ関西事務所 [昭和17年~18年カ] 12月27日 封書 謄写 1通
関西事務所運動報告(第六号、中央参与員会議を12月19日滋賀支部当番にて開催、柴田先生酔素講習会)
(備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒
- 44 -6 東亜聯盟同志会関西事務所 昭和19年7月28日 封書 タイプ(謄写) 1通
関西地方運動方針案(昭和19年度後期)
(備考) 東亜聯盟協会関西事務所封筒
- 45 中田正孝・瀧田吉生 昭和18年3月29日 封書 ペン 1通
中田・瀧田の渡支挨拶
(備考) 封筒差出人は東亜聯盟協会、東亜聯盟協会罫紙・東亜聯盟同志会封筒
- 46 中山忠直 昭和20年 封書 ペン 1通
建白書について
- 47 -1 中山優 昭和14年〔1月カ〕24日 封書 ペン 1通
上海中国人の情報
- 47 -2 中山優 [昭和15年~16年カ] 2月1日 封書 墨書 1通
建大の実情他
(備考) 日満軍人会館封筒
- 47 -3 中山優 [昭和16年] 1月14日 封書 墨書 1通
閣議の決果東亜聯盟論惨敗。昨十三夜近衛公訪問
- 47 -4 中山優 [昭和16年] 3月11日 封書 ペン 1通
退役の情報に接して、板垣閣下一度視察
- 47 -5 中山優 [昭和16年カ] 4月22日 封書 墨書 1通
崔南善、朴錫胤、伊東六十次郎、中山の寄せ書き
- 47 -6 中山優 昭和16年8月27日 封書 墨書 1通
先日国防学拝読、対中関係、日米関係
- 47 -7 中山優 昭和18年5月23日 封書 墨書 1通
先日は久々に英姿を拝す、山本提督の英霊を迎え肅然

増川喜久男関係文書目録

47 -8	中山優 大陸の情勢、建大は政治思想戦の機能を喪失	[昭和19年] 5月10日	封書	墨書	1通
47 -9	中山優 牧野務紹介	昭和 年1月20日	封書	墨書	1通
47 -10	中山優 憲兵の策動、東條のみならず	昭和 年 月5日	封書	墨書	1通
47 -11	中山優 東京の情勢、二十二日京都着	昭和 年 月18日	封書	墨書	1通
48	成田頼武 昨年暮れ、高木・外山等と戦術の話し（戦術の変化に焦点を当てて書くつもり）	昭和17年1月3日	封書	ペン	1通
49	野口伝兵衛 東亜聯盟を退職、指導原理作成には今後も関与	昭和17年7月12日	封書	墨書	1通
50 -1	福島清三郎 石原が帰郷後の関西事務所と大阪事務所の動向 （備考）義方会用箋・封筒	昭和16年9月29日	封書	ペン	1通
50 -2	福島清三郎 京都の青年部もその後活気づく、木村先生帰途立寄り下さる由 （備考）義方会封筒	昭和18年5月24日	封書	墨書	1通
50 -3	福島清三郎 木村先生入洛、畑で実地解説 （備考）義方会封筒	昭和18年5月29日	封書	ペン	1通
50 -4	福島清三郎 二十二日より講習会、満州国協和会職員募集皆合格 （備考）義方会封筒	昭和18年8月4日	封書	ペン	1通
50 -5	福島清三郎 石島（曹）寧柱の保釈の件 （備考）義方会封筒	昭和18年10月21日	封書	墨書	1通
50 -6	福島清三郎 金光邦三法律事務所書簡 福島清三郎宛 昭和18年10月22日（石島（曹）寧柱の保釈の件） （備考）義方会封筒	昭和18年10月22日	封書	ペン	1通
50 -7	福島清三郎 石島・安藤両氏に対する公判 （備考）義方会封筒	昭和18年12月17日	封書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

50 -8	福島清三郎 公判の状況 (備考) 義方会封筒	昭和18年12月20日	封書	ペン	1通
50 -9	福島清三郎 京都支部の状況、十一月、十二月に講習会 (備考) 義方会封筒	昭和19年10月11日	封書	墨書	1通
50 -10	福島清三郎 天橋立講習会の内容 (備考) 義方会封筒	昭和19年10月27日	封書	ペン	1通
50 -11	福島清三郎 天橋立講習会開催決定、樋口氏来訪 (備考) 義方会封筒	昭和19年10月28日	封書	ペン	1通
50 -12	福島清三郎 福井での礼、鎌倉行きは断念 (備考) 義方会封筒	昭和20年3月15日	封書	墨書	1通
50 -13	福島清三郎 昨夜神崎死去の報に接す、有意の同志の死感慨無量 (備考) 義方会封筒	昭和20年3月31日	封書	墨書	1通
50 -14	福島清三郎 福島清三郎から野村事務員死去に伴う事務交代の件 (備考) 封筒差出人は東亜聯盟同志会関西事務所。東亜聯盟協会関西事務所封筒	昭和20年4月14日	封書	墨書	1通
50 -15	福島清三郎 代表者会議の際お邪魔致し、御馳走感謝 (備考) 義方会封筒	昭和20年5月5日	封書	墨書	1通
51	福島昌夫 雷撃山人の名乗り、日蓮無用論執筆の詫び状 (備考) 中島飛行機用箋	昭和17年6月2日	封書	ペン	1通
52 -1	淵上辰雄 「新体制と東亜聯盟」を本日読み非常なる感激、公刊を熱望	昭和15年11月22日	封書	ペン	1通
52 -2	淵上辰雄 池本・杉浦治助会談及び農業政策起草の件、五日の約束を延期	昭和17年2月4日	葉書	ペン	1通
52 -3	淵上辰雄 十一日も会談禁止、池本・杉浦治助会談不可能となる	昭和17年2月8日	葉書	ペン	1通

増川喜久男関係文書目録

- | | | | | | |
|--------|--|-----------------|------|----|----|
| 52 -4 | 淵上辰雄 | 昭和17年7月1日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 関西・山陰の情況報告、武田邦太郎兄の宅に一泊、池本先生にも面会
(付) 東亜聯盟協会西濃支部機構及事務 謄写 1枚 | | | | |
| 52 -5 | 淵上辰雄 | 〔昭和17年ヵ〕 8月12日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 日南支部の情況報告
(備考) 鈴木旅館用箋・封筒 | | | | |
| 52 -6 | 淵上辰雄 | 〔昭和17年〕 8月13日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 鹿児島県鹿屋市の塚野道雄氏について、五一五事件以来鹿児島へ、塚野氏最終戦争論探究 | | | | |
| 52 -7 | 淵上辰雄 | 昭和17年8月15日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 鹿児島市の山口頸次氏について、塚野氏の人格に敬服 | | | | |
| 52 -8 | 淵上辰雄 | 〔昭和17年〕 9月7日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 東京本部・名古屋・飛騨・三重等の情況報告
(付) 読売新聞切抜「軍属床屋さん再起」 活版 1枚 | | | | |
| 52 -9 | 淵上辰雄 | 昭和17年9月13日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 佐世保、鹿児島工作報告、一字会の件 | | | | |
| 52 -10 | 淵上辰雄 | 昭和17年10月21日 | 封緘葉書 | ペン | 1通 |
| | 関門事務所を山陽事務所に改組、大牟田市にて古賀と面会、二十六日座談会、九州工作 | | | | |
| 52 -11 | 淵上辰雄 | 〔昭和17年ヵ〕 12月16日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 佐賀の三上卓との会見 | | | | |
| 52 -12 | 淵上辰雄 | 昭和17年12月30日 | 封緘葉書 | ペン | 1通 |
| | 福岡の支部設置について、鹿児島・長崎・飯塚等の工作報告 | | | | |
| 52 -13 | 淵上辰雄 | 〔昭和18年〕 5月2日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 筑豊支部結成。長野・三重・名古屋工作等 | | | | |
| 52 -14 | 淵上辰雄 | 昭和18年5月28日 | 封書 | ペン | 1通 |
| | 三上卓への紹介先等
(備考) 東亜聯盟協会罫紙・封筒 | | | | |
| 52 -15 | 淵上辰雄 | 昭和18年10月25日 | 封緘葉書 | ペン | 1通 |
| | 十一月四日常任・工作員の鶴岡訪問について | | | | |
| 52 -16 | 淵上辰雄 | 昭和18年11月14日 | 封緘葉書 | ペン | 1通 |
| | 長崎支部講習会準備について | | | | |

増川喜久男関係文書目録

- 52 -17 淵上辰雄 昭和19年3月28日 封書 ペン 1通
 宇奈月での反省、結婚について
 (備考) 東亜聯盟協会封筒
- 52 -18 淵上辰雄 昭和19年4月1日 葉書 ペン 1通
 九州の活動家佐藤守の死
- 52 -19 淵上辰雄 [昭和19年] 4月11日 封書 ペン 1通
 小泉菊枝の意見、結婚後の条件
- 52 -20 淵上辰雄 [昭和19年] 4月13日 封書 ペン 1通
 町村警保局長と会見、名古屋青年事件、特高課からの報告なし
 (備考) 東亜聯盟協会罫紙
- 52 -21 淵上辰雄 昭和20年3月11日 封書 ペン 1通
 福田忠光等との鶴岡訪問について、酵素指導所、横浜に於ける聯盟支部の組織
 (備考) 東亜聯盟同志会原稿用紙・同封筒
- 53 -1 保坂富士夫 [昭和17年] 6月2日 封書 ペン 1通
 田中芳谷の昭和維新排撃論について、『東亜聯盟』五月号の「日蓮無用論」に関して
 (備考) 「大日本」原稿用紙
 (付) 師子王文庫興学部各位に呈する書(写) 田中芳谷 昭和17年5月30日 「大日本」原稿
 用紙 ペン 3枚
- 53 -2 保坂富士夫 昭和20年4月22日 封書 ペン 1通
 「マインカンブ批判」刷り上がる、中参会議全国代表者会議等会務について
 (備考) 東亜聯盟同志会原稿用紙・同封筒
 (付1) [中央参与会員代表者会議案内状] 昭和20年4月29日 謄写 1枚
 (付2) [『東亜聯盟』・書籍発送遅延連絡案内] 謄写 1枚
- 53 -3 保坂富士夫 [昭和 年10月ヵ] 3日 葉書 ペン 1通
 国柱会本部役員辞任について、複雑低迷の状態
- 54 -1 増川喜久男 昭和17年1月31日 封書 ペン 1通
 『東亜聯盟』二月号の校正終了、「香港」は原文を生かした。第二講以下訂正中
 (付1) [『東亜聯盟』1月号・2月号部数・配給先・収入一覧] 増川喜久男 ペン 協和運動
 原稿用紙 3枚
 (付2) 『東亜聯盟』二月号目次 増川喜久男 ペン 東亜聯盟原稿用紙 1枚
- 54 -2 増川喜久男 昭和17年5月30日 封書 ペン 1通
 「日蓮無用論」の掲載申し訳ない、六月号誌上「信仰について」で伊地知などの抗議は要点のみ
 を記載する方針、本部機構刷新の件
- 54 -3 増川喜久男 [昭和18年ヵ] 8月2日 封書 ペン 1通

増川喜久男関係文書目録

京都師団からは返事なし、八月号校正終了
 (備考) 東亜聯盟協会原稿用紙・同封筒

54 -4	増川喜久男	〔昭和19年〕 1月27日	封書	ペン	1通	関東・北陸地区講習会での講義「国民社会主義ドイツ労働初期の運動に就て」を三月号以降三回に分載、許容賜りたい
55 -1	松浦嘉三郎	昭和18年5月24日	封書	墨書	1通	貴地訪問をし損ねた弁明
55 -2	松浦嘉三郎	昭和18年6月25日	封書	墨書	1通	宮沢二郎君への厚遇感謝
55 -3	松浦嘉三郎	昭和18年7月12日	封書	墨書	1通	八月初旬錦地訪問予定
55 -4	松浦嘉三郎	昭和18年9月27日	封書	ペン	1通	「革新期の官吏道」掲載に関して
56 -1	丸川順助	〔昭和14年〕 11月7日	封書	墨書	1通	満州移住協会主催視察団を前旬子に案内した事、袁士驤の事他
56 -2	丸川順助	〔昭和17年〕 2月3日	封書	墨書	1通	訪問時の御礼
57 -1	三神正蔵	〔昭和15年〕 11月12日	封書	ペン	1通	漸く市立病院長の正式発令、民生部当局のやり方の緩慢さに閉口。医師と団員の対立除去に留意 (備考) 齊齊哈爾開拓医学院罨紙・同封筒
57 -2	三神正蔵	昭和16年4月11日	封書	ペン	1通	満州に於ける協和会運動も船頭多く、その他の運動もややもすれば形式に流れる
57 -3	三神正蔵	昭和18年9月17日	封書	ペン	1通	来月新潟医大に出張、その後貴地に参上予定 (備考) 齊齊哈爾開拓医学院罨紙
57 -4	三神正蔵	昭和19年11月21日	封書	ペン	1通	開拓地巡回、幹部如何が開拓地の成否を決める
58	三品隆以	〔昭和17年ヵ〕 11月 17日	封書	墨書	1通	武内文彬・田村・中山・大川等の来滬の影響
59 -1	宮崎正義	昭和14年10月11日	封書	墨書	1通	

増川喜久男関係文書目録

日満財政経済研究会の「経済提携に関する協定要綱案」他送付の件

- 59 -2 宮崎正義 昭和15年7月26日 封書 墨書 1通
朝鮮人問題に対する東亜聯盟協会の態度は前回の中央参与会議において留保、朝鮮人問題の考え方について教示願う
- 59 -3 宮崎正義 昭和15年9月26日 封書 墨書 1通
日満財政経済研究会の解消に関して
- 59 -4 宮崎正義 [昭和15年ヵ] 11月4日 封書 墨書 1通
経済具体案の作成について、日満財政経済研究会は11月末日を以て全員解体
- 59 -5 宮崎正義 [昭和15年ヵ] 12月1日 封書 墨書 1通
英独の抗戦能力に関する調査書を送付、協和会東京事務所の件
- 59 -6 宮崎正義 昭和16年1月6日 封書 墨書 1通
日満財政経済研究会の業績報告書及十五年度収支決算報告提出、図書資料類は参謀本部に寄贈
(付1) 日満財政経済研究会研究報告事項概要 宮崎正義 (参謀本部囑託・日満財政経済研究会主事) タイプ 1綴
(付2) 昭和十五年十月調査報告書目録 日満財政経済研究会 タイプ 1綴
(付3) 昭和 十五年度収入支出決算報告 日満財政経済研究会 タイプ 1綴
- 59 -7 宮崎正義 [昭和16年] 4月3日 封書 墨書 1通
閣下今回の事、責任を痛感、東亜聯盟協会に対し一切の役員辞任を申出候
- 59 -8 宮崎正義 [昭和16年] 6月12日 封書 墨書 1通
立命館のご好意を辞退した事
- 59 -9 宮崎正義 [昭和17年ヵ] 7月27日 封書 墨書 1通
総合計画の具体的内容に関しては更に研究
- 59 -10 宮崎正義 昭和18年3月1日 封書 墨書 1通
未熟な論文に過分の御言葉を戴き恐縮
- 59 -11 宮崎正義 [昭和19年] 8月1日 封書 墨書 1通
支那総軍の職務一段落、拝芝の希望
- 59 -12 宮崎正義 [昭和19年] 8月10日 封書 墨書 1通
郷里の兄病臥、見舞いの為訪問延期
- 59 -13 宮崎正義 [昭和19年] 8月29日 封書 墨書 1通
訪問時の礼
- 60 繆斌 [昭和15年] 7月15日 封書 墨書 1通

増川喜久男関係文書目録

面呈を請う、東亜環境日増険悪
 (備考) 中華民国新民会用箋

- 61 -1** 山口重次 昭和14年7月16日 封書 ペン 1通
 協和会中央委員会の様子、鞍山では青年が製鋼所に吸収され耕地が荒廃、大工が資材欠乏で働
 けずというような困難が山積
 (備考) 満洲帝国政府封筒
- 61 -2** 山口重次 昭和14年7月24日 封筒なし ペン 1通
 応急措置を要する緊急事態次々発生
 (備考) 元61-1 (昭和14年7月16日) 書筒に同封
- 61 -3** 山口重次 昭和14年8月6日 封書 ペン 1通
 全聯処理委員会、満州能率協会について
 (備考) 満蒙ホテル封筒
 (付) 満州能率協会に対する卑見 タイプ 1綴
- 61 -4** 山口重次 [昭和14年] 9月10日 封書 ペン 1通
 協和会職員と全満青訓指導員に東亜聯盟を高潮致し、新京滞在中は毎夜、青年官吏及び会職員
 押しかけ参り
- 61 -5** 山口重次 昭和14年10月8日 封書 ペン 1通
 飯村・遠藤両閣下に岡野鑑記氏と同席で満州の実情具申、経済協議会暫行要領同封
 (備考) 満蒙ホテル用箋・同封筒
 (付) 経済協議会暫行要領 タイプ 1綴
- 61 -6** 山口重次 昭和14年10月13日 封書 ペン 1通
 小泉氏の拙著批判拝見、低価格政策の矛盾、飯村・遠藤両閣下への期待
- 61 -7** 山口重次 昭和14年12月2日 封書 ペン 1通
 統制経済を消費物資の売買まで官営でやる傾向、しかも協和会は此の情勢に直面して民意の吸
 収に手を染めず
- 61 -8** 山口重次 [昭和15年ヵ] 1月14日 封書 ペン 1通
 五ヶ年計画の行き詰まり、官庁の新設拡大で能率低下
- 61 -9** 山口重次 昭和15年2月14日 封書 ペン 1通
 奉天市経済協議会、S Y統計の実施について他
- 61 -10** 山口重次 [昭和15年] 3月15日 封書 ペン 1通
 協和会の審査役として、飯村將軍の顧問格となる
- 61 -11** 山口重次 [昭和15年] 5月24日 封書 ペン 1通
 新京政府の人事異動、韓雲海の罷免は満系官吏や商民に衝撃。東亜聯盟は太田君の活動で拡大
 (付) 建国 (協和運動) 秘話 山口重次 タイプ (謄写) 1綴

増川喜久男関係文書目録

- 61 -12 山口重次 [昭和15年] 6月27日 封書 ペン 1通
笹川良一氏の件、東京聯盟協会より連絡、二十二日より奉天省本部の指導に着手、SY統計、協和会「宣誓文」
(付1) [満洲帝国協和会宣誓文(新聞記事切抜き)] 活版 1枚
(付2) 挨拶二代へテ同志ニ告ク 山口重次(満洲国協和会奉天省本部事務長事務取扱)
昭和15年6月19日 タイプ(謄写) 14枚
- 61 -13 山口重次 [昭和15年] 7月14日 封書 ペン 1通
建国神廟の建設により、東亜聯盟の精神と矛盾する恐れ有り、そういう誤解を解きうる学者を推薦されたし
(備考) 満蒙ホテル用箋
- 61 -14 山口重次 昭和15年9月13日 封書 ペン 1通
「協和会指導要綱案」増訂版『東亜聯盟』に連載、満鉄総裁が東亜聯盟結成を社是とすると訓辞
(備考) 満洲帝国協和会罫紙
(付) [満洲国協和会指導要綱(案)] 満洲帝国協和会罫紙 タイプ 1綴
- 61 -15 山口重次 昭和16年1月12日 封書 ペン 1通
協和会の改組、東亜聯盟弾圧と鷺崎事件、協和会総務部長には甘粕氏正式に決定
- 61 -16 山口重次 [昭和16年] 3月11日 封書 ペン 1通
先日、杉浦君は「身延入り」と申したのに我等は「旭の森」なりと信ずと申し送り候
(付1) 宣誓 タイプ 満洲国協和会奉天省本部用箋 1枚
(付2) 時局対策聯盟綱領 タイプ 満洲国協和会奉天省本部用箋 1枚
- 61 -17 山口重次 [昭和16年] 6月3日 封書 墨書 1通
丸川君達の事業も小沢矢部両氏其他の厚意で順調
- 61 -18 山口重次 昭和16年8月18日 封書 墨書 1通
日本滞在中の御礼、戦争史大観・国防論残念、山下中将に拝芝予定、昨夜片倉大佐と懇談、治安部のSY統系は無事、他
- 61 -19 山口重次 [昭和16年ヵ] 12月15日 封書 ペン 1通
和田勁と雑談、当地の実情は和田から
- 61 -20 山口重次 [昭和16年] 12月25日 封書 ペン 1通
大戦争となる、誌友会の件、入江と古知の対立、丸川の件は和田より
(備考) 満洲帝国協和会奉天省本部封筒
- 61 -21 山口重次 [昭和17年] 5月25日 封書 墨書 1通
此の十年の経験よりすれば、事変前の満洲権益の喪失は張学良の排日の罪ではなく実に日本の政策の失敗、肝心の新京要人は十週年祝賀に重点を指向
(備考) 満蒙ホテル封筒
- 61 -22 山口重次 昭和17年7月 封書 活版 1通
「興亜運動への拍車」「協和会誕生の思ひ出」(新聞切り抜き5枚)
(備考) ホービルホテル封筒

増川喜久男関係文書目録

- | | | | | | | |
|--------|-------|---------------|----|----|----|---|
| 61 -23 | 山口重次 | 昭和17年9月23日 | 封書 | ペン | 1通 | 二十二日の新聞で東亜聯盟協会東亜聯盟同志会への新出発の報、本庄将軍17日御来奉し拝芝 |
| 61 -24 | 山口重次 | 〔昭和17年ヵ〕12月9日 | 封書 | ペン | 1通 | 和田氏・辻中佐に面会、貨幣本位を物本位に |
| 61 -25 | 山口重次 | 昭和17年12月16日 | 封書 | ペン | 1通 | 日本人が満州の実情に疎いことに驚く |
| 61 -26 | 山口重次 | 〔昭和18年ヵ〕3月15日 | 封書 | ペン | 1通 | 京城で板垣将軍に会う
(備考) 満蒙ホテル封筒 |
| 61 -27 | 山口重次 | 昭和19年5月26日 | 葉書 | ペン | 1通 | 満州巡察、六年前と変わらず進歩なし |
| 61 -28 | 山口重次 | 〔昭和19年ヵ〕9月1日 | 封書 | 墨書 | 1通 | 北支よりの流民200万 |
| 61 -29 | 山口重次 | 昭和 年2月25日 | 封書 | 墨書 | 1通 | 大馬力をかけた出荷は120万トン |
| 61 -30 | 山口重次 | 昭和 年4月27日 | 封書 | ペン | 1通 | 二月以来、経済戦、思想戦が決戦様相 |
| 61 -31 | 山口重次 | 昭和 年12月22日 | 封書 | ペン | 1通 | 吉林の鉄道訓練所訪問、電気製鉄試験の実況見聞 |
| 62 -1 | 山本勝之助 | 昭和18年2月6日 | 封書 | ペン | 1通 | 建設要綱の企劃届完了、小泉氏原稿の件、国民戦術読本出版の件等について
(備考) 聖紀書房原稿用紙 |
| 62 -2 | 山本勝之助 | 昭和18年6月16日 | 封書 | ペン | 1通 | 合本漸く校了、予定の如き出版は困難、平沢事務官近日参上予定、
(備考) 聖紀書房原稿用紙 |
| 62 -3 | 山本勝之助 | 昭和19年1月29日 | 封書 | ペン | 1通 | 参上時の礼、(後)の親分に面会、聯盟の方針を述べ親分の態度のあり方の決定を求めた、講習会女性参加の件
(備考) 亜細亜政策研究所罫紙 |
| 62 -4 | 山本勝之助 | 昭和 年 月13日 | 葉書 | ペン | 1通 | 毎日、聯盟の運動を致し居り候 |

増川喜久男関係文書目録

63	藍漢章	昭和19年10月27日	封書	ペン	1通
	藍漢章より満州での東亜聯盟運動要望 (備考) 封筒差出人は東亜聯盟月刊満洲総支社、東亜聯盟月刊満洲総支社罫紙・同封筒				
64	盧劍鳴	昭和 年 月 日	封書	墨書	1通
	東亜聯盟に入会、中国の東亜聯盟運動について (付) 北京盧劍鳴氏書簡要旨 ペン 東亜聯盟協会関西事務所罫紙 1枚				
65	渡辺薫美	昭和16年3月6日	封書	墨書	1通
	御状拝承、将来は国事専ら御願ひ申し上げ候				
66	差出人不明 (東亜聯盟 関係者カ)	昭和 年 月 日	封書	ペン	1通
	山尾なる人物は言語同断 (備考) 東亜聯盟協会封筒				

2. <増川喜久男宛> 書簡

67 -1	石原莞爾	昭和16年9月20日	葉書	ペン	1通
	鶴岡市番田時雨荘への転居通知				
67 -2	石原莞爾	昭和16年12月2日	封緘葉書	ペン	1通
	日中戦争講和の形式要点				
67 -3	石原莞爾	昭和17年1月22日	封緘葉書	ペン	1通
	講義速記朱を入れて返送、第二講以下を掲載する場合御訂正 (国防論も参照) 時日に余裕を以て送付望む、雑誌への発表差し控られる方可然				
67 -4	石原莞爾	昭和17年1月23日	葉書	ペン	1通
	「香港」については表現緩和、注意、止むなくは伏字				
67 -5	石原莞爾	昭和17年5月21日	封書	ペン	1通
	日蓮無用論を読み不愉快憤慨言ひ難いものあり、伊地知の手紙同封 (付) 伊地知則彦書簡 石原莞爾宛 [昭和17年] 5月16日 ペン 東亜聯盟協会原稿用紙 1通				
67 -6	石原莞爾	昭和17年7月23日	葉書	ペン	1通
	池本農業政策大観印刷状態御一報下さい				
67 -7	石原莞爾	昭和17年12月3日	封書	ペン	1通
	来訪に対し失礼、田村真作の来訪日程、連絡されたし				
67 -8	石原莞爾	昭和17年12月18日	葉書	ペン	1通
	あの論文は気に入らざるもの、代品あらば中止せらるる事				

増川喜久男関係文書目録

67 -9	石原莞爾 御質問、老兵の手におえず	昭和18年3月12日	葉書	ペン	1通
67 -10	石原莞爾 あの話しは今日、わざわざ訂正する必要ありや	昭和18年6月30日	封緘葉書	ペン	1通
67 -11	石原莞爾 お申越のものは京都師団の同意必要	昭和18年7月1日	葉書	ペン	1通
67 -12	石原莞爾 満州に勤務する軍人の心得は今日、印刷する価値なし	昭和18年8月29日	葉書	ペン	1通
67 -13	石原莞爾 十一月号佐藤俐・淵上両君の書いたもの	昭和18年11月20日	葉書	ペン	1通

3. <家族宛／第三者宛／宛先不明> 書簡

石原六郎宛

68	石原莞爾 削除の件、要点を逸したものを掲載するは迷惑	昭和18年11月22日	葉書	ペン	1通
----	-------------------------------	-------------	----	----	----

石原鈺井宛

69	石原六郎 昨今の世田谷若林近辺模様。講習日程連絡あり (備考) 東亜聯盟協会原稿用紙・同封筒	[昭和17~18年4月ヵ] 25日	封書	ペン	1通
----	--	-------------------	----	----	----

東亜聯盟協会宛

70	石原莞爾 宣言に「欧米帝国主義・・・」とある、12月号に謝罪訂正必要	昭和16年11月4日	葉書	ペン	1通
----	---------------------------------------	------------	----	----	----

宛先不明

71	古知静岳 立正安国	昭和18年7月16日	封筒なし	ペン	1通 (6枚)
72	東亜聯盟協会 報告第42号 (関西中央参与会員会議開催他)	昭和16年3月13日	封筒なし	タイプ	1通 (1綴)

4. その他（楽譜）

- | | | | |
|----|---------------------------|-------------------|-------|
| 73 | 出征兵士（七変奏唱曲）
成楽会（原田彦四郎） | 昭和11年11月15日 | 活版 1部 |
| 74 | 駆足・椿拾ふ・子守歌
成楽会（原田彦四郎） | 昭和12年2月10日 | 活版 1部 |
| 75 | (番外)切手 一括 | (書簡から剥落、元の添付位置不明) | |